

寺井クリニック

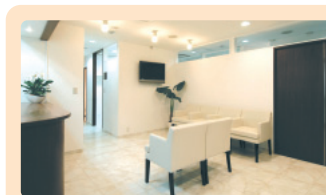
豊富な経験に培われた質の高い
内視鏡診療と患者様本位の温かい
医療サービスの融合を実現

患者様一人ひとりの顔が見える癒しの医療を目指し
内視鏡診療を専門とするクリニックを開業

寺井クリニックは、2006年6月に内視鏡診療を専門とするクリニックとして開業しました。院長の寺井毅先生は、順天堂大学順天堂医院で19年間にわたり、主に消化器内視鏡を専門とする病棟医・外来医として勤務された経験をお持ちです。クリニック開業の経緯を寺井先生に伺ったところ、「私が専門としていた大腸内視鏡の場合、専門医としては苦痛のないスコープ挿入、正確な診断、安全な治療の3つをバランスよく行えることが求められます。この基本的なスキルの専門性を十分に高めることができるという点で、大学病院での経験は非常に有用なものでした。しかし、内視鏡診療に関しては依頼を受けて行う検査が中心で、一人の患者様に対して行う診療の一部にしか関与できない点に不満を感じていました。そのため、自分が培ってきた経験を活かし、もっと患者様一人ひとりの顔が見える診療形態で、大学病院と同等もしくはそれ以上の高い水準の内視鏡診療を提供したいという思いが強くなり、それを実現するために自分のクリニックを開業しました」とお話になりました。現在クリニックでは、寺井先生のほか3名の看護師と事務スタッフ2名で日々の検査や診療にあたっています。

最新の内視鏡機器を導入し
高度な診断と治療をクリニックで実践

寺井クリニックでは、最先端の消化器内視鏡検査と治療を提供するため、最新の拡大内視鏡とNBIシステムを内視鏡クリニックとしてはいち早く導入しています。また、患者様の負担を軽減するため、3cm程度までの粘膜切除はデイスージャリーで行うなど、リスク回避をしながらクリニックで行える確実な内視鏡治療を実践しています。入院が必要なケースでは、順天堂医院をはじめ各種専門施設との医療連携のもと、紹介手続等を迅速に行い、患者様にとって最も望ましい医療を提供することを使命としています。また、感染対策にも積極的に取り組んでおり、自動洗浄器を2台設置して全例で症例間消毒を実施しているほか、



〒101-0021
東京都千代田区外神田
2-2-19丸和ビル1F
院長：寺井 毅
スタッフ：医師1名
看護師3名
事務2名

生検鉗子を始めほとんどの内視鏡処置具をデイスパーザブル化しています。寺井先生は「感染に対する完全な安全性を提供する目的でデイスパーザブル製品を使用していますが、毎回新品を使うことで製品の性能を最大限に活かすことができ、手技がスムーズに行えます」と、デイスパーザブル製品を使用する利点をご説明されました。

クリニックに来院する患者様は他施設からの紹介が大半ですが、最近ではご本人やご家族がインターネット等で情報収集して受診される方も増えているそうです。寺井先生は、「情報化社会が進んでいるので、かなり専門なことまで調べて来院される方も少なくありませんが、一方で大腸内視鏡検査に対する抵抗感はまだ強いようです。そのため当クリニックでは、医師もしくは看護師が患者様に対して検査内容や手順などを十分時間をかけて説明するようにしています」と、患者様が安心して検査を受けていただける環境づくり力を入れている点を強調されました。また、リカバリールームは全て個室化し、検査後も落ち着いて休息してもらえるよう配慮しているそうです。寺井先生は、「クリニックが開業して1年が経ち、患者様の数も増えて非常に忙しくなってきました。しかし、“患者様に癒しの医療を提供する”という開業目的を忘れずに、患者様が安心して苦痛のない内視鏡検査や治療を受けていただけるよう、これからも一人ひとりの患者様に対して十分な説明やケアの時間を割いて診療を行うよう、スタッフとともに工夫を凝らして頑張っていきたい」と、今後の展望をお話になりました。



寺井クリニック スタッフのみなさん(中央が寺井先生)